

◆ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資することを基本とします。 運用方針としては、経済の変動のダイナミズムを先取りしたアセットアロケーションを前提にファンドの組成に取り組む方針を一貫して行います。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限は設けません。 ②株式への直接投資は行いません。 ③同一銘柄の投資信託証券への投資は、原則として信託財産の純資産総額の50%未満とします。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。(分配を行わないこともあります。) 分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

※当ファンドは課税上、株式投資信託として取り扱われます。

# ありがとうファンド

(愛称：『ファンドの宝石箱』)

## 第12期 運用報告書 (全体版)

(決算日 2016年8月31日)

### ●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、皆様の「ありがとうファンド」は、2016年8月31日に第12期の決算を行いました。第12期も当ファンドは、長期国際分散投資で世界経済及び企業の成長を享受すべく投資先を厳選して運用を行って参りました。

ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。



東京都台東区上野3丁目19番4号 サカイビル  
ホームページ <http://www.39asset.co.jp>

### ◆お問合せ先

ありがとう投信株式会社

TEL. 0800-888-3900 (フリーコール)

受付時間：8:30～17:30 (土日祝日を除く)

## お客様へのメッセージ

### 長谷 俊介（代表取締役社長）

2004年9月1日に約1億6千万円の純資産でスタートした『ありがとうファンド』は、無事に第12期の決算を迎えることが出来ました。これもひとえに皆さまのご支援の賜物であると感謝しております。誠にありがとうございます。

干支で言えば、一つの節目を過ぎて新たなサイクルに入っておりますが、長期国際分散投資による資産運用の必要性はますます高まっているように感じます。日本経済は少子高齢化が加速し社会保障費が増大していく中、財政は今後ますます苦しくなり、将来の年金を国だけに頼れない状況は誰の目にも明らかです。自助努力による老後の資産形成の必要性が高まって来ている中で、今年5月には、確定拠出年金法が改正されて来年1月から原則60歳未満のすべての方が加入できるように対象者が拡大されます。また、金融庁の平成29年度税制改正要望項目では、非課税期間を20年とする積立NISAの創設も要望項目として挙げられており、長期・積立投資による老後の資産形成を税制面からもサポートする流れが大きくなってきております。

そのような中で弊社は創業の原点に回帰し、これからもお客様の資産運用を一生涯サポートしていけるように、社員一丸となって努力して参ります。今後ともありがとうございますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

### 真木 喬敏（ファンドマネージャー）

リーマンショックから8年が経とうとしています。その影響は米国市場のみならず、欧州危機など世界経済に様々な影響を与えました。そういった悪循環を断ち切るために、主要国政府は様々な金融緩和を駆使して、経済の安定を図ってきました。その金融緩和についても、出口が見えてきた国・地域、まだまだ追加緩和が必要な国・地域、一度は緩和を緩めるも再び緩和が必要になる国・地域など、8年前に始まった衝撃は形を変えてまだ尾を引いています。本来であれば、株価というものはその企業の成長性を織り込むものですが、このような非連続の連続が続く市場環境の中では、それもなおさら難しくなってきました。そんな未知の環境だからこそ、長期国際分散投資アクティブファンドとしての価値が試されると考えております。市場全体の流れに縛られることなく、市場全体が不透明な環境下でも成長していく企業の成長性を享受できるファンドを確立すべく運用を続けたいと思いますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
8期 (2012年8月31日)	8,146	0	2.6	83.1	7.6	7,681
9期 (2013年9月2日)	11,647	0	43.0	82.2	9.8	10,261
10期 (2014年9月1日)	13,818	0	18.6	82.7	12.0	10,825
11期 (2015年8月31日)	15,772	0	14.1	59.6	22.1	11,337
12期 (2016年8月31日)	14,686	0	△ 6.9	67.9	25.2	10,667

(注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は前期比。組入比率は対純資産比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

(注3) 期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
		騰落率		
(期首)	円	%	%	%
2015年8月31日	15,772	—	59.6	22.1
9月末	14,880	△ 5.7	58.3	23.1
10月末	16,033	1.7	60.8	24.2
11月末	16,347	3.6	63.8	25.2
12月末	15,892	0.8	64.9	24.8
2016年1月末	14,774	△ 6.3	64.2	24.8
2月末	14,325	△ 9.2	63.7	25.0
3月末	15,142	△ 4.0	64.2	25.1
4月末	15,334	△ 2.8	64.4	25.2
5月末	15,244	△ 3.3	68.3	24.7
6月末	14,022	△ 11.1	69.4	25.1
7月末	15,032	△ 4.7	69.6	24.9
(期末)				
2016年8月31日	14,686	△ 6.9	67.9	25.2

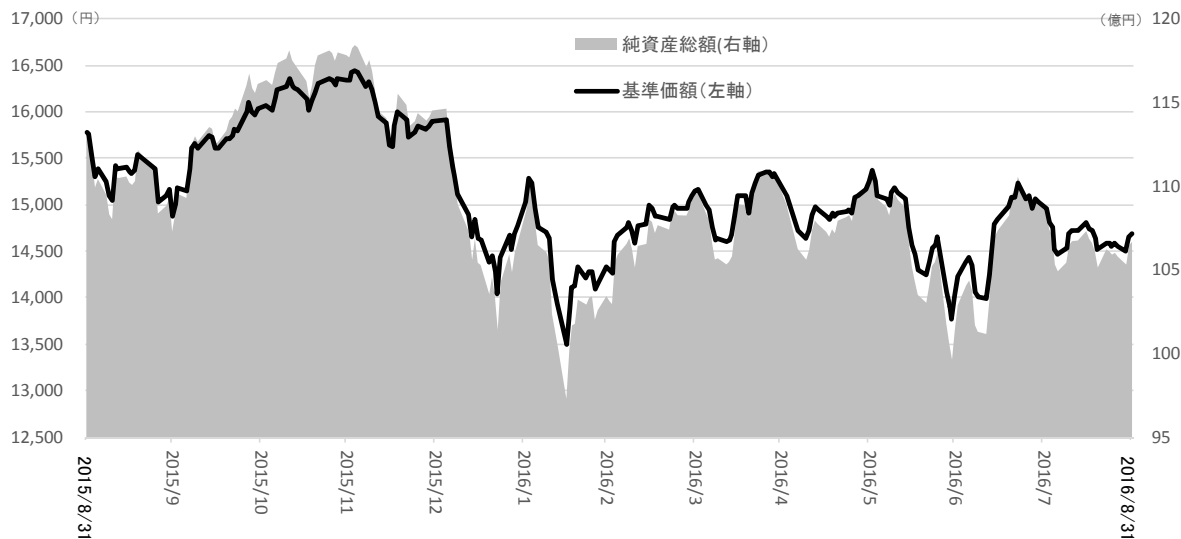
(注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。組入比率は対純資産比。

(注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク (参考指数) が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

(注3) 期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

## 運用経過のご説明

### ○当期中の基準価額等の推移 【2015年9月1日～2016年8月31日】



期首	期中高値	期中安値	期末	騰落率
2015年8月31日	2015年12月3日	2016年2月15日	2016年8月31日	-6.9%
15,772 円	16,441 円	13,497 円	14,686 円	

(注1) 当ファンドにベンチマークはありません。

(注2) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の変動要因

当期は、投資先ファンドが TMA 長期投資ファンドを除いてすべて下落し、基準価額の下落の要因になりました。

日本株市場は、ドル円 120 円台から一時 90 円台まで円高基調に推移し、海外で活躍する企業の収益を圧迫したことで、組入れファンドの基準価額を下げる要因になりました。

米国株市場は指数がドルベースで前年比プラスで終わりましたが、年間を通して円高ドル安が進んだため、円ベースではマイナス要因になりました。

欧州株は指数がユーロベース、円ベース共に前年比マイナスで終わりました。しかしながら、組入れファンドの銘柄選択効果で市場を上回り、市場よりも小幅な下げにとどまりました。

新興国株市場は指数がドルベースで前年比プラスで終わりましたが、年間を通して円高ドル安が進んだため、円ベースではマイナス要因になりました。

## ○当ファンドの運用経過

前期に引き続き、当期では一層の国際分散投資を進めました。

世界株式市場の時価総額比率などで国・地域別配分比率を考慮した際、当ファンドにおける現行の日本株保有比率が比較的高く、また度重なる追加緩和による市場の歪みを避けるために、日本株保有比率の高い社会貢献ファンドと TMA 長期投資ファンドを一部売却しました。また、金融関連銘柄・資源関連銘柄を多く保有する ALAMCO ハリスグローバルバリュー株ファンドを売買し、保有比率を下げました。

一方、新興国とヨーロッパを投資先としているニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドとニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドを買い増しました。両市場ともに足元のマクロ環境は依然厳しいですが、両市場の今後の経済成長性、EPS(1株当たり利益)の成長性を鑑みた場合、他の市場に比べて伸びしろが大きいと判断して買い増しました。また、キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(旧キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンド)についても買い増しました。

### (参考情報) 前期末とのファンド組入比率の比較

ファンド名	11 期末組入比率	当期末組入比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド	9.1%	21.8%
キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ (旧キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンド)	15.3%	18.5%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド	7.8%	18.3%
TMA長期投資ファンド	18.4%	14.2%
社会貢献ファンド	17.5%	9.6%
キャピタル・グループ・エマージング・マーケット・トータル・オポチュニティーズ	6.8%	6.6%
ALAMCO ハリス グローバル バリュー株ファンド	6.8%	4.1%
組入ファンド数	7	7

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注3) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

(注4) キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンドは 2016 年6月 17 日(投資先現地日付)をもってキャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカに統合されました。

## ○投資環境 (2015年9月～2016年8月)

当期の世界の株式市況は、中国の景気減速懸念などの調整の後 2015年9月にFRB（米連邦準備理事会）が利上げを見送ったことや、ECB（欧州中央銀行）が追加的な金融緩和を示唆したことなどを背景に持ち直す局面もありましたが、原油価格が大きく下げたことや、Brexit などの市場の予想と反するイベントがおこるなど、全体的に軟調に推移しました。

日本では、中国の景気減速などによる影響でリスクオフの環境下で当期が始まりました。2015年後半にかけて世界的な金融緩和環境を背景に、日本株式市場も持ち直す局面も見られましたが、原油価格が下げ止まらないことが嫌気され日本株式市場は軟調に推移しました。2016年1月には日銀金融政策決定会合にて、新たな追加緩和としてマイナス金利導入が決定され、導入直後は円安株高になりましたが、主に銀行業に対する収益圧迫懸念により、逆に円高株安に推移する結果になりました。その後、英国の欧州連合離脱を問う国民投票では市場の予想とは異なる離脱という結果になり、世界同時株安基調の中、日本株式市場も大きく値を下げ、円高も加速しました。世界経済が不透明さを増す中、各国当局の緊急対応の表明もあり日本株式市場は値を戻す展開になりましたが、円高基調は続きました。7月での日銀金融政策決定会合では、主にETFの買い付け額を約倍増の年間6兆円規模にするといった内容で、日本株式市場の下値を支える要因になりました。

米国では、FRBが9年半ぶりに利上げを実施し、株価は利上げを織り込んでいたため大きな影響はなく、どちらかというと年に何回利上げできるかという議論にその後株価は左右されました。米雇用統計をはじめとした各種経済指標の発表により利上げのタイミングをうかがう展開が続く中、米国株式市場は他市場に比べ堅調に推移しました。

ヨーロッパでは、当初中国をはじめとした新興国経済の減速懸念が高まり株価は軟調に推移していました。10月からECBが追加的な金融緩和を示唆したことなどによる株価の上昇局面も見られましたが、12月発表の追加金融緩和策が市場の予想を下回り、再び値を下げる展開になりました。2016年前半では、原油価格下落に伴う世界景気減速懸念、イタリアの銀行不良債権問題へ対する懸念、ドイツ銀行の信用不安などから下落しました。その後もBrexitなどリスクオフのイベントが起り、値を下げやすい環境が続きましたが、そのたびに追加金融緩和などにより値を戻す展開が見られました。

新興国では、序盤中国経済減速懸念が高まったことや、原油価格が下げ止まらない環境下で、資源輸出国に対する先行き不透明感が増し 2016年年初までは軟調な局面が多くありましたが、その後は原油など商品市況が反発に転じたことやFRBの利上げペースの後退が示唆されたことなどを背景に上昇基調に転じました。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、リスクを抑えながら資産の長期的な成長を目指し、株式中心の投資方針を続けて参ります。国際的な分散投資を通して日本に限らず世界で活躍する成長企業の成長性を株価という形で享受できるよう、現時点で比較的高い円資産の比率を徐々に減らし、海外株式保有割合を増やしていきます。また丹念な企業調査に基づく伝統的な運用スタイルのファンドを厳選選別し組み入れていくことで、リスクを抑制いたします。

現行の各投資先ファンドのパフォーマンスを見直し、依然厳しいマクロ環境の中であっても成長が見込まれる企業を発掘できるファンドの新規組み入れを視野に入れています。

## ○分配金

基準価額の水準、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き分配無しとさせて頂きました。なお、分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用方針に基づいて運用致します。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

第12期 (2015年9月1日～2016年8月31日)	
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,133

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります。

## 1 万口当たりの費用明細

(2015年9月1日～2016年8月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	147 円	0.974%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は 15,089 円です。 委託した資金の運用の対価  交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価  運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
( 投信会社)	(72)	(0.477)	
( 販売会社)	(59)	(0.391)	
( 受託会社)	(16)	(0.106)	
合 計	147	0.974	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しています。



## 当期中の売買および取引の状況

### [投資信託受益証券]

(2015年9月1日～2016年8月31日)

	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内		千口	千円	千口	千円
	ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ	877,621	1,440,000	—	—
	ニッポンコムジェスト・エマージング	860,496	1,140,000	—	—
	ハリスグローバルバリュー株ファンド	180,000	219,146	397,883	398,828
	社会貢献ファンド	—	—	484,981	804,579
	TMA長期投資ファンド	—	—	339,754	590,000
	合計	1,918,118	2,799,146	1,222,620	1,793,407

(注1) 金額は受け渡し代金です。

(注2) 単位未满是切り捨てです。

### [投資証券]

(2015年9月1日～2016年8月31日)

	銘柄	買付		売付		
		口数	金額	口数	金額	
外国		千口	千円	千口	千円	
	ル ク セ ン ブ ル グ	ICA クラスZ	1,830	1,909,340	—	—
	キャピタル・グループ EMトータルオポチュニティーズ クラスZ	583	796,867	—	—	
	キャピタル・グループ EMトータルオポチュニティーズ クラスX	—	—	594	796,867	
	キャピタル・グループ USグロス&インカム クラスZ	106	330,000	667	1,909,340	
	合計	2,520	3,036,208	1,261	2,706,208	

(注1) 金額は受け渡し代金です。

(注2) 単位未满是切り捨てです。

**利害関係人との取引状況**

(2015年9月1日～2016年8月31日)

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

**第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況**

当期における自己取引はありません。

**自社による当ファンドの設定・解約状況**

該当事項はありません。

**組入資産の明細**

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた投資対象ファンドの明細

**[投資信託受益証券]**

ファンド名	期首(前期末)	当期末(2016年8月31日現在)			
	単位数 又は口数	単位数 又は口数	評価額	比率	
	千口	千口	千円	%	
社会貢献ファンド	1,121,542	636,560	1,019,261	9.6	
TMA長期投資ファンド	1,214,710	874,955	1,509,910	14.2	
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ	573,015	1,450,636	2,320,873	21.8	
ニッポンコムジェスト・エマージング	621,615	1,482,112	1,954,757	18.3	
ハリスグローバルバリュース株ファンド	643,998	426,114	439,750	4.1	
合 計	口数・金額	4,174,882	4,870,379	7,244,553	67.9
	銘柄数	5	5	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。比率は四捨五入。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

## [投資証券]

ファンド名		期首(前期末)	当期末(2016年8月31日現在)		
		単位数 又は口数	単位数 又は口数	評価額	比率
ルクセンブルグ	キャピタル・グループ USグロース&インカム クラスZ	千口 561	千口 —	千円 —	% —
	キャピタル・グループ EMトータルオポチュニティーズ クラスX	594	—	—	—
	キャピタル・グループ EMトータルオポチュニティーズ クラスZ	—	583	708,716	6.6
	キャピタル・グループ ICA クラスZ	—	1,830	1,977,429	18.5
合 計	口数・金額	474	2,414	2,686,145	25.2
	銘柄数	2	2	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。比率は四捨五入。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

## 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末 (2016年8月31日現在)	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	7,244,553	67.6
投資証券	2,686,145	25.1
コール・ローン等、その他	789,376	7.4
投資信託財産総額	10,720,075	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨てです。そのため、単純合計と表示が異なる場合があります。

(注2) 比率は四捨五入してあります。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年8月31日現在)

項目	当期末	
(A) 資産	10,720,075,974 円	
コール・ローン等	789,376,994	(注1) 期首元本額 7,188,097,630 円
投資信託受益証券(評価額)	7,244,553,510	期中追加設定元本額 545,876,331 円
投資証券(評価額)	2,686,145,470	期中一部解約元本額 470,253,591 円
(B) 負債	52,811,589	(注2) 運用報告書作成日時点では、監査未了です。
未払解約金	499,999	(注3) 計算期間の末日現在1口当たり純資産の額
未払信託報酬	52,311,590	1.4686 円
(C) 純資産総額(A-B)	10,667,264,385	
元本	7,263,720,370	
次期繰越損益金	3,403,544,015	
(D) 受益権総口数	7,263,720,370 口	
1万口当り基準価額(C/D)	14,686 円	

## 損益の状況 (2015年9月1日～2016年8月31日)

項目	当期末	
(A) 配当等収益	△ 198,885 円	(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
受取利息	70,497	(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
支払利息	△ 269,382	(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(B) 有価証券売買損益	△ 642,356,134	
売買益	134,828,257	
売買損	△ 777,184,391	
(C) 信託報酬等	△ 106,102,672	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 748,657,691	
(E) 前期繰越損益金	3,160,246,252	
(F) 追加信託差損益金	991,955,454	
(配当等相当額)	(1,295,176,246)	
(売買損益相当額)	(△ 303,220,792)	
(G) 計(D+E+F)	3,403,544,015	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G+H)	3,403,544,015	
追加信託差損益金	991,955,454	
(配当等相当額)	(1,295,176,246)	
(売買損益相当額)	(△ 303,220,792)	
分配準備積立金	3,160,246,252	
繰越損益金	△ 748,657,691	

## お知らせ《当期中の約款の変更》

当期中に実施した約款変更は以下の通りです。

- ① 2015年11月30日 同一銘柄の投資信託証券への投資制限の変更  
一般社団法人投資信託協会の規則に則り、信用リスク集中回避のための投資制限を加える所要の変更を行いました。
- ② 2015年11月30日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）  
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。
- ③ 2016年1月4日 受益権の取得申込み及び信託の一部解約についての売買不可日設定  
ニューヨーク証券取引所の休業日及びルクセンブルグの銀行休業日にあたる場合は、売買不可日とする所要の変更を行いました。
- ④ 2016年5月31日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）  
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。

## 【指定投資信託証券の運用内容】

『ありがとうファンド』は、主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

組入れファンドの選択に当っては、ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視し、ファンド・オブ・ファンズのパフォーマンスへの寄与を明確にします。選択の基準としては、運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件とします。組入れファンドの運用内容のチェックとして、基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかどうか重要な判断基準とします。

以降、各ファンドの直近の決算状況を各ファンドからのデータ提供をもとに掲載しております。

### 《社会貢献ファンド（適格機関投資家専用）》

第 11 期（決算日：2015 年 9 月 24 日）計算期間：2014 年 9 月 23 日～2015 年 9 月 24 日

#### ■ 1 万口（元本 10,000 円）当たりの費用の明細

項 目	当 期
( a ) 信 託 報 酬	147 円
( 投 信 会 社 )	( 129 )
( 販 売 会 社 )	( 4 )
( 受 託 銀 行 )	( 15 )
( b ) 売 買 委 託 手 数 料	31
( 株 式 )	( 31 )
( c ) そ の 他 費 用	1
( 監 査 費 用 )	( 1 )
合 計	179

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です（項目ごとに円未満は四捨五入しています。）。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率  
 (b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数  
 (c) 保管費用等 = 期中の保管費用等 / 期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

#### ■ 組入資産の明細

##### ● 親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ALAMCO 社会貢献マザーファンド	千口 1,075,822	千口 1,005,174	千円 1,792,126

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は、5,199,818 千口です。

## ●ALAMCO 社会貢献マザーファンド組入上位 10 銘柄

(2015年9月24日現在)

	銘柄名	投資比率 (%)
1	ブロンコビリー	5.16
2	トヨタ自動車	5.08
3	サックスバー ホールディングス	4.82
4	三菱鉛筆	4.71
5	太陽ホールディングス	4.62
6	良品計画	4.54
7	オムロン	4.53
8	アークランドサービス	4.34
9	イーグル工業	3.75
10	東鉄工業	3.33
組入銘柄数		36銘柄

(注)構成比は現物株式ポートフォリオに占める比率です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年9月24日現在)

項目	当期末
(A) 資産	1,820,020,831円
コーロ・ローン等	18,894,594
ALAMCO 社会貢献マザーファンド(評価額)	1,792,126,232
未収入金	9,000,000
未収利息	5
(B) 負債	8,672,959
未払信託報酬	8,619,154
その他未払費用	53,805
(C) 純資産総額 (A - B)	1,811,347,872
元本	1,121,542,949
次期繰越損益金	689,804,923
(D) 受益権総口数	1,121,542,949口
1万口当たり基準価額 (C / D)	16,150円

(注1) 期首元本額は1,181,542,949円、期中追加設定元本額は70,000,000円、期中一部解約元本額は130,000,000円です。

## ■損益の状況

当期(自2014年9月23日 至2015年9月24日)

項目	当期
(A) 配当等収益	2,050円
受取利息	2,050
(B) 有価証券売買損益	93,881,858
売買益	103,937,826
売買損	△ 10,055,968
(C) 信託報酬等	△ 16,186,767
(D) 当期損益金 (A + B + C)	77,697,141
(E) 前期繰越損益金	364,055,543
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	248,052,239 ( 143,790,189)
(売買損益相当額)	( 104,262,050)
(G) 計 (D + E + F)	689,804,923
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G + H)	689,804,923
追加信託差損益金 (配当等相当額)	248,052,239 ( 143,877,314)
(売買損益相当額)	( 104,174,925)
分配準備積立金	441,752,684

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(23,545,968円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(54,151,173円)、信託約款に規定する収益調整金(248,052,239円)および分配準備積立金(364,055,543円)より分配可能額は689,804,923円(10,000口当たり6,150円)ですが、当期は分配を行いませんでした。

## 《TMA長期投資ファンド〈適格機関投資家限定〉》

第9期（決算日：2015年5月16日）計算期間：2015年5月16日～2016年5月15日

## ■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 90 (76) (6) (9)	0.514 (0.433) (0.032) (0.049)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 * 委託した資金の運用の対価 * 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 * 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	21 (21)	0.122 (0.122)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 * 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.008 (0.008)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 * 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)  (監査費用) (その他)	3 (1)  (1) (0)	0.015 (0.007)  (0.008) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 * 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 * 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 * その他は、信託事務等に要する諸費用
合計	115	0.659	

期中の平均基準価額は、17,494円です。

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。
- (注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- (注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## ■組入資産の明細

## ●親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
東京海上長期投資マザーファンド	千口 2,254,876	千口 1,992,358	千円 3,676,300

## ●東京海上長期投資マザーファンド株式組入上位 10 銘柄

(2016年5月16日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	キーエンス	日本円	日本	4.60
2	ニトリホールディングス	日本円	日本	4.30
3	関西ペイント	日本円	日本	4.00
4	ヤフー	日本円	日本	4.00
5	NOVOZYMES A/S-B SHARES	デンマーク・クローネ	デンマーク	3.60
6	エムスリー	日本円	日本	3.50
7	CHURCH & DWIGHT CO INC	米ドル	アメリカ	3.40
8	アサヒグループホールディングス	日本円	日本	3.30
9	COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	米ドル	アメリカ	3.30
10	信越化学工業	日本円	日本	3.20
組入銘柄数			37 銘柄	

(注) 組入比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。



## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年5月16日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	3,686,698,063
東京海上長期投資マザーファンド(附属)	3,676,300,103
未収入金	10,397,960
(B) 負債	10,397,960
未払信託報酬	10,235,960
その他未払費用	162,000
(C) 純資産総額 (A-B)	3,676,300,103
元本	2,078,572,924
次期繰越損益金	1,597,727,179
(D) 受益権総口数	2,078,572,924口
1万口当たり基準価額 (C/D)	17,687円

(注1) 当ファンドの期首元本額は2,340,433,364円、期中追加設定元本額は126,850,908円、期中一部解約元本額は388,711,348円です。

(注2) 当期末の1口当たり純資産額は17,687円です。

## ■損益の状況

(2015年5月16日～2016年5月16日)

項目	当期
	円
(A) 有価証券売買損益	△58,081,986
売買益	38,112,965
売買損	△96,194,951
(B) 信託報酬等	△21,579,135
(C) 当期損益金 (A+B)	△79,661,121
(D) 前期繰越損益金	1,678,394,130
(E) 追加信託差損益金	△1,005,830
(配当等相当額)	(385,109,803)
(売買損益相当額)	(△386,115,633)
(F) 計 (C+D+E)	1,597,727,179
次期繰越損益金 (F)	1,597,727,179
追加信託差損益金	△1,005,830
(配当等相当額)	(385,254,314)
(売買損益相当額)	(△386,260,144)
分配準備積立金	1,702,099,377
繰越損益金	△103,366,368

(注) (A) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(23,705,247円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(385,254,314円)および分配準備積立金(1,678,394,130円)より分配対象収益は2,087,353,691円(1万口当たり10,042円)でしたが、当期に分配した金額はありません。

## ■株式 国別構成比率

(2016年5月16日現在)

資産	国名	構成比率
株式		%
	日本	58.9
	アメリカ	14.3
	デンマーク	6.5
	フランス	2.8
	ドイツ	2.3
スウェーデン	2.2	

(注) 構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

## 《ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA（適格機関投資家限定）》

第8期（決算日：2015年12月25日）計算期間：2014年12月26日～2015年12月25日

## ■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2014/12/26～2015/12/25		
	金額	比率	
平均基準価額	18,245円		期中の平均基準価額です。
(a)信託報酬	197円	1.080%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(118)	(0.648)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(59)	(0.324)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(20)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料	17	0.092	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(17)	(0.092)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c)有価証券取引税	14	0.078	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(14)	(0.078)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d)その他費用	12	0.066	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(11)	(0.060)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他1）	(0)	(0.000)	・外国株式に関する各種手数料等
合計	240	1.316	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ■ 組入資産の明細

## ● 親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ニッポンコムジェスト・ ヨーロッパマザーファンド	千口 3,417,029	千口 5,003,541	千円 10,041,606

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ●ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド組入上位 10 銘柄

(2015 年 12 月 25 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	INDITEX	ユーロ	スペイン	6.2
2	AMADEUS IT HOLDINGS SA	ユーロ	スペイン	5.8
3	ESSILOR INTERNATIONAL	ユーロ	フランス	4.3
4	WIRECARD AG	ユーロ	ドイツ	4.3
5	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	ユーロ	フランス	4.2
6	COLOPLAST -B	デンマーククローネ	デンマーク	4.1
7	DASSAULT SYSTEMES SA	ユーロ	フランス	4.0
8	ARM HOLDINGS PLC	英ポンド	イギリス	3.9
9	BAYER AG-REG	ユーロ	ドイツ	3.8
10	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーククローネ	デンマーク	3.5
組入銘柄数			36 銘柄	

※国の区分は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。  
※比率は純資産総額に対する評価額の割合

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015 年 12 月 25 日)現在当期

項目	当期末
	円
(A)資産	10,093,284,104
コール・ローン等	51,677,589
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド(評価額)	10,041,606,487
未収利息	28
(B)負債	50,233,487
未払信託報酬	49,963,487
その他未払費用	270,000
(C)純資産総額(A-B)	10,043,050,617
元本	5,417,760,706
次期繰越損益金	4,625,289,911
(D)受益権総口数	5,417,760,706 口
1 万口当たり基準価額(C/D)	18,537 円

(注)当ファンドの期首元本額は 3,656,606,788 円、期中追加設定元本額は 1,761,153,918 円、期中一部解約元本額は 0.0 円です。

(注)また、1 口当たり純資産額は 18,537 円です。

## ■損益の状況

(自 2014 年 12 月 26 日 至 2015 年 12 月 25 日)

項目	当期
	円
(A)配当等収益	3,534
受取利息	3,534
(B)有価証券売買損益	566,323,856
売買益	567,053,285
売買損	△729,429
(C)信託報酬等	△90,157,862
(D)当期損益金(A+B+C)	476,169,528
(E)前期繰越損益金	2,622,256,673
(F)追加信託差損益金	1,526,863,710
(配当等相当額)	(2,603,547,644)
(売買損益相当額)	(△1,076,683,934)
(G)計(D+E+F)	4,625,289,911
(H)収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	4,625,289,911
追加信託差損益金	1,526,863,710
(配当等相当額)	(2,607,019,560)
(売買損益相当額)	(△1,080,155,850)
分配準備積立金	3,098,426,201

(注)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注)損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注)計算期間末における費用控除後の配当等収益(93,402,522 円)、費用控除後の有価証券等損益額(382,767,006 円)、信託約款に規定する収益調整金(2,607,019,560 円)および分配準備積立金(2,622,256,673 円)より分配対象収益は 5,705,445,761 円(10,000 口当たり 10,530 円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA（適格機関投資家限定）》

第8期(決算日：2015年12月25日) 計算期間：2014年12月26日～2015年12月25日

### ■1万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2014/12/26～2015/12/25		
	金額	比率	
平均基準価額	15,499円		各期中の平均基準価額です。
(a)信託報酬	167円	1.080%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(100)	(0.648)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(50)	(0.324)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(17)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料	24	0.152	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(24)	(0.152)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c)有価証券取引税	10	0.064	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷各期中の平均受益権口数
(株式)	(10)	(0.064)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d)その他費用	27	0.176	(d)その他費用＝期中のその他費用÷各期中の平均受益権口数
(保管費用)	(20)	(0.132)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(2)	(0.015)	・外国株式に関する各種手数料等(ADR手数料や税務代理人費用等)
(その他2)	(3)	(0.022)	・インド株式におけるキャピタルゲイン課税等
合計	228	1.472	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

### ■組入資産の明細

#### ●親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ニッポンコムジェスト・ エマージングマーケット マザーファンド	千口 3,545,816	千口 5,463,625	千円 8,357,707

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ●ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド組入上位 10 銘柄

(2014 年 12 月 25 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	米ドル	台湾	7.0
2	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	香港ドル	中国	6.3
3	CHINA MOBILE LTD	香港ドル	中国	5.5
4	NETEASE INC ADR	米ドル	中国	4.8
5	INFOSYS LTD-SP ADR	米ドル	インド	4.2
6	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	香港ドル	中国	4.2
7	CKH HOLDINGS	香港ドル	香港	4.0
8	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インドルピー	インド	3.6
9	SANLAM LTD	南アフリカランド	南アフリカ	3.6
10	MTN GROUP LTD	南アフリカランド	南アフリカ	3.4
組入銘柄数			38 銘柄	

※ 国の区分は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

※ 比率は純資産総額に対する評価額の割合

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015 年 12 月 25 日)現在当期

項目	当期末
	円
<b>(A)資産</b>	8,399,804,517
コール・ローン等	42,097,326
ニッポンコムジェスト・エマージング マーケット マザーファンド(評価額)	8,357,707,168
未取利息	23
<b>(B)負債</b>	40,910,520
未払信託報酬	40,640,520
その他未払費用	270,000
<b>(C)純資産総額(A-B)</b>	8,358,893,997
元本	5,885,580,633
次期繰越損益金	2,473,313,364
<b>(D)受益権総口数</b>	5,885,580,633 口
1 万口当たり基準価額(C/D)	14,202 円

## ■損益の状況

(自 2014 年 12 月 26 日 至 2015 年 12 月 25 日)

項目	当期
	円
<b>(A)配当等収益</b>	2,922
受取利息	2,922
<b>(B)有価証券売買損益</b>	△510,422,317
売買益	2,036,866
売買損	△512,459,183
<b>(C)信託報酬等</b>	△75,522,182
<b>(D)当期損益金(A+B+C)</b>	△585,941,577
<b>(E)前期繰越損益金</b>	2,091,416,879
<b>(F)追加信託差損益金</b>	967,838,062
(配当等相当額)	(2,139,534,435)
(売買損益相当額)	(△1,171,696,373)
<b>(G)計(D+E+F)</b>	2,473,313,364
<b>(H)収益分配金</b>	0
次期繰越損益金(G+H)	2,473,313,364
追加信託差損益金	967,838,062
(配当等相当額)	(2,144,176,815)
(売買損益相当額)	(△1,176,338,753)
分配準備積立金	2,148,082,582
繰越損益金	△642,607,280

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(56,665,703 円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0 円)、信託約款に規定する収益調整金(2,144,176,815 円)および分配準備積立金(2,091,416,879 円)より分配対象収益は 4,292,259,397 円(10,000 口当たり 7,292 円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007 (適格機関投資家専用)》

第9期(決算日: 2016年3月9日) 計算期間: 2015年3月10日~2016年3月9日

## ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

(2015年3月10日~2016年3月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 170	% 1.404	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(131)	(1.080)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(29)	(0.238)	各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(10)	(0.086)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.037	(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際に支払う手数料です。
( 株 式 )	(5)	(0.037)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.022	(c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
( 株 式 )	(3)	(0.022)	
(d) そ の 他 費 用	10	0.084	(d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(10)	(0.079)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用です。
( 監 査 費 用 )	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用です。
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	188	1.547	
期中の平均基準価額は、12,127円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ■組入資産の明細

## ●親投資信託残高

種 類	期首 (前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
ALAMCO ハリス	千口	千口	千口	千円
グローバルバリュース株マザーファンド	2,221,858	3,237,434	4,576,113	

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は13,984,458千口です。

## ●ALAMCO ハリスグローバルバリュー株マザーファンド組入上位 10 銘柄

(2016年3月9日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	BNP PARIBAS	銀行	ユーロ	フランス	5.9
2	GLENCORE PLC	素材	英ポンド	イギリス	5.3
3	DATLER AG-REG	自動車・自動車部品	ユーロ	ドイツ	4.9
4	CNH INDUSTRIAL NV	資本財	ユーロ	イタリア	4.6
5	LAFARGEHOLCIM LTD	素材	スイスフラン	スイス	4.6
6	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	各種金融	スイスフラン	スイス	4.5
7	GENERAL MOTORS CO	自動車・自動車部品	米ドル	アメリカ	4.2
8	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	保険	米ドル	アメリカ	4.0
9	JULIUS BAER GROUP LTD	各種金融	スイスフラン	スイス	4.0
10	ALLIANZ SE	保険	ユーロ	ドイツ	4.0
組入銘柄数			34銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年3月9日現在)

項目	当期末
(A) 資産	4,635,000,098円
コール・ローン等	58,886,710
ALAMCOハリスグローバルバリュー株マザーファンド(評価額)	4,576,113,388
(B) 負債	34,761,116
未払信託報酬	34,627,990
その他未払費用	133,126
(C) 純資産総額(A - B)	4,600,238,982
元本	4,423,720,877
次期繰越損益金	176,518,105
(D) 受益権総口数	4,423,720,877口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,399円

(注) 期首元本額は2,990,708,567円、期中追加設定元本額は1,702,801,046円、期中一部解約元本額は269,788,736円です。

## ■損益の状況

(2015年3月10日～2016年3月9日)

項目	当期
(A) 配当等収益	3,152円
受取利息	3,152
(B) 有価証券売買損益	△ 904,371,199
売買取損益	42,334,675
売買損	△ 946,705,874
(C) 信託報酬等	△ 71,678,022
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 976,046,069
(E) 前期繰越損益金	598,761,467
(F) 追加信託差損益金	553,802,707
(配当等相当額)	(1,347,298,526)
(売買損益相当額)	(△ 793,495,819)
(G) 計(D + E + F)	176,518,105
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	176,518,105
追加信託差損益金	553,802,707
(配当等相当額)	(1,350,200,968)
(売買損益相当額)	(△ 796,398,261)
分配準備積立金	618,978,154
繰越損益金	△ 996,262,756

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託する場合における当該委託に要する費用は32,958,675円となります。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(20,216,687円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(一円)、信託約款に規定する収益調整金(1,350,200,968円)および分配準備積立金(598,761,467円)より分配可能額は1,969,179,122円(10,000口当たり4,451円)ですが、当期は分配を行いませんでした。



《キャピタル・グループ・USグロースアンドインカム・ファンド（ルクセンブルグ籍円建外国投資法人）》

（決算日：2015年12月31日） 計算期間：2015年1月1日～2015年12月31日

※表示は基準通貨（Base Currency）のユーロ（EUR）建です。

## ■資産、負債、純資産の状況

### Assets

Investments at market value	€380,324,409
Investment in To Be Announced contracts at market value	-
Cash at bank	94,096
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	356,012
Receivable for fund shares subscribed	93,166
Prepaid expenses and other receivables	241,946
Unrealised gain on forward currency exchange contracts	-
Receivable for investments sold	65,950
Unrealised gain on hedged share class forward currency exchange contracts	-
Receivable for To Be Announced contracts	-
<b>Total assets</b>	<b>381,175,579</b>

### Liabilities

Payable for fund shares redeemed	98,811
Payable for investments purchased	84,146
Unrealised loss on hedged share class forward currency exchange contracts	91,648
Management fee payable	251,849
Accrued expenses and other payables	196,560
Payable for To Be Announced contracts	-
Payable for closed forward currency exchange contracts	-
Unrealised loss on forward currency exchange contracts	-
<b>Total liabilities</b>	<b>723,014</b>

<b>Total net assets</b>	<b>€380,452,565</b>
-------------------------	---------------------

<b>Investment securities at cost</b>	<b>€314,765,307</b>
--------------------------------------	---------------------



## ■ 損益の状況

<b>Income</b>	
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	–
Dividend income (net of withholding taxes)	€7,476,682
Other income	–
Interest on bank accounts	69
	7,476,751
<b>Expenses</b>	
Management fee	3,257,401
Administrative Manager services	380,468
Professional services	215,456
Taxe d'abonnement	179,489
Custody	64,989
Other	37,281
Printing and publishing	26,514
	4,161,598
Reimbursement of expenses	226,007
<b>Net investment income/(loss) for the year (a)</b>	<b>3,541,160</b>
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	43,013,533
Foreign currency transactions	(327,724)
Swap contracts	–
<b>Net realised profit/(loss) for the year (b)</b>	<b>42,685,809</b>
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(23,109,530)
Foreign currency transactions	(43,482)
<b>Net change in unrealised appreciation/(depreciation) for the year (c)</b>	<b>(23,153,012)</b>
<b>Result of operations for the year (a+b+c)</b>	<b>23,073,957</b>
<b>Dividend distribution</b>	<b>(3,337,114)</b>
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the year	1,789,280
Total net assets at the beginning of the year	358,926,442
<b>Total net assets at the end of the year</b>	<b>€380,452,565</b>

《キャピタル・グループ・エマージングマーケット・トータル・オポチュニティーズ（ルクセンブルグ籍円建外国投資法人）》

（決算日：2016年3月31日） 計算期間：2015年4月1日～2016年3月31日

※表示は基準通貨（Base Currency）のUSドル建です。

## ■資産、負債、純資産の状況

### Assets

Investments at market value	US\$2,749,967,531
Cash at bank	59,081,603
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	20,615,285
Unrealised gain on hedged share class forward currency exchange contracts	15,897,879
Receivable for investments sold	9,648,366
Prepaid expenses and other receivables	258,685
Receivable for fund shares subscribed	227,850
Receivable for foreign taxes	14,586

<b>Total assets</b>	<b>2,855,711,785</b>
---------------------	----------------------

### Liabilities

Payable for investments purchased	1,452,085
Unrealised loss on forward currency exchange contracts	4,365,242
Management fee payable	1,881,569
Payable for closed forward currency exchange contracts	1,128,534
Accrued expenses and other payables	830,401
Payable for fund shares redeemed	1,006,930

<b>Total liabilities</b>	<b>10,664,761</b>
--------------------------	-------------------

<b>Total net assets</b>	<b>US\$2,845,047,024</b>
-------------------------	--------------------------

<b>Investment securities at cost</b>	<b>US\$3,055,512,473</b>
--------------------------------------	--------------------------

## ■ 損益の状況

<b>Income</b>	
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	US\$71,348,676
Dividend income (net of withholding taxes)	39,467,432
Interest on bank accounts	2,126
	110,818,234
<b>Expenses</b>	
Management fee	23,104,609
Custody	1,027,567
Administrative Manager services	704,207
Professional services	471,568
Taxe d'abonnement	400,669
Other	171,934
Printing and publishing	50,157
	25,930,711
Reimbursement of expenses	128,163
<b>Net investment income/(loss) for the year (a)</b>	<b>85,015,686</b>
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	(118,525,519)
Foreign currency transactions	(14,141,143)
<b>Net realised profit/(loss) for the year (b)</b>	<b>(132,666,662)</b>
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(206,609,282)
Foreign currency transactions	491,826
Foreign tax provision	4
<b>Net change in unrealised appreciation/(depreciation) for the year (c)</b>	<b>(206,117,452)</b>
<b>Result of operations for the year (a+b+c)</b>	<b>(253,768,428)</b>
<b>Dividend distribution</b>	<b>(14,666,120)</b>
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the year	113,163,461
Total net assets at the beginning of the year	3,000,318,111
<b>Total net assets at the end of the year</b>	<b>US\$2,845,047,024</b>

## 直接販売状況

2016年8月31日決算日現在 有効口座数（※）4,883 口座 ※決算日現在残高のないお客様も含みます。

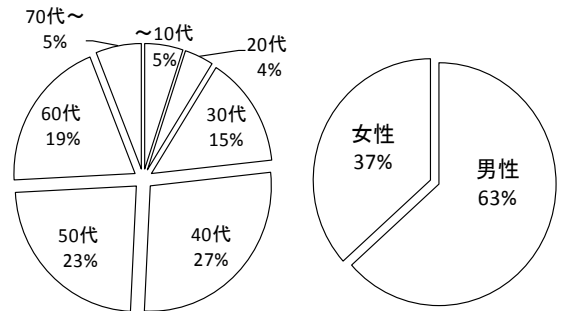
当期末現在で口座数が4,883 口座（内法人26 口座）となりました。一人当たりの平均保有残高は2,184 千円です。当期間の新規口座開設件数は189 口座でした。前期に引き続き、「本・新聞等を見て」や「家族・知人の紹介」を口座開設のきっかけとされる方が多くを占めております。一方、一定期間取引の無いお客様の口座閉鎖手続やファンドの売却と共に口座閉鎖手続きをされたことによる口座数減少は158 口座となりました。

### ◆お客様の特徴

年代別では、40代のお客様が27%と最も多く、40代から60代のお客様が全体の約7割となっております。

### ◆ファンド設定・解約の状況

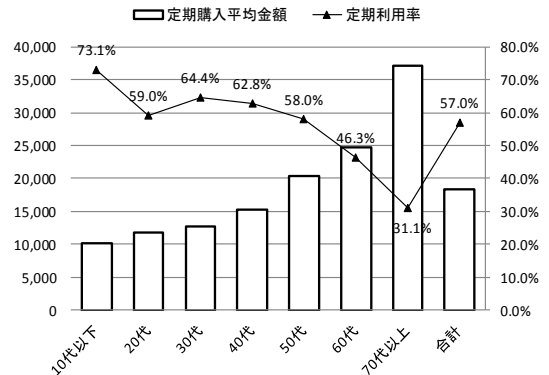
第12期においては、設定金額が819百万円、解約金額が712百万円となり、金額ベースで純流入となりました。主な要因としては、前期に比べて基準価額が下落した中、コツコツと定期積立サービスでファンドを購入されるお客様が半数以上いたことが要因であると考えられます。また、ありがとうファンドの純資産額は、期中平均108億円となりました。



### ◆定期積立サービス

当サービスをご利用されているお客様の割合は57.0%（分母：有効口座数）。一人当たりの定期購入金額平均は18,316円でした。

相場の変動に踊らされないためにも、時間分散による継続投資を、お客様の年齢問わず推奨しております。インフレから資産を守る観点からも、長期継続投資は重要だと考えております。お客様のお好きなタイミングで購入する「スポット購入」と合わせて、ファンドを数回に分けて購入する「分けて買いプラン」、毎月コツコツ投資していく「定期積立サービス」をどうぞご活用ください。



### ◆運用状況を随時お伝えしております。

毎月月上旬発行の月次レポート以外にも、ありがとうファンドの特徴や運用状況をお伝えするセミナーを定期的に開催しております。今後も引き続き情報発信を積極的に行って参ります。